

おのうえ一彦通信

おのうえ一彦後援会
〒939-2251 富山市下大久保 1978-17
TEL・FAX：076-467-5735
<http://www.onouekazuhiko.com>

令和 7 年 1 月発行

会報 No.41

ごあいさつ

寒冷の候、皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日ごろは、私の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年、1月1日に発生した能登半島地震では、能登半島を中心に甚大な被害が発生しました。復旧・復興が急がれていますが、ようやく公費解体が本格的に始まったところで、まだ、時間がかかりそうです。これからも、復旧・復興を促進するよう、当局への働きかけを継続してまいります。

皆さま方に多大なるご支援をいただき、3期目をスタートしてから、早いもので、3年9か月が経過し、この4月には審判の時を迎えます。これまで、3期12年、地域の更なる発展に尽力してまいりましたが、まだ多くの課題があると思います。一つでも多く、その課題を解決するため、4期目の出馬を決意いたしました。皆さま方には引き続きのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、令和6年12月定例会市議会が、11月29日(金)から12月19日(木)までの21日間の会期で開催され、予算案件13件、条例案件11件、契約案件1件、その他の議決案件5件、承認案件1件、報告案件3件全ての議案が可決承認されました。また、令和5年度決算についても、全ての案件が認定されました。

これからも、地域がますます発展しますよう一生懸命活動して参りますので、引き続きご支援賜りますよう、お願い致します。

令和6年12月定例会 一般質問概要

1. 大規模災害への対応等について

Q：津波避難タワーや学校などの屋上に直接上がることのできる階段の設置など垂直避難ができる施設を増やすことも有効と考えるが、当局の見解を問う。

A：能登半島地震では、避難行動に混乱が生じ、校舎の窓ガラスを割って校内に侵入するなどの事案が発生した。このような避難者の行動や心情にも配慮し、市内10箇所の小中学校に垂直避難経路の整備を行うこととした。

一方で、本市が指定する津波指定緊急避難場所となっている小中学校等については、浸水想定区域や避難対象地域に含まれておらず、グラウンド等の敷地に避難することで安全を確保できることから、新たに学校等の屋上に直接上がることのできる階段を設置することは考えていない。また、本市の浸水想定区域は沿岸部の一部であることから、その効果が限定的である津波避難タワーの設置についても考えていない。

Q：再生可能エネルギーの導入について、今後の計画など、当局の対応を問う

A：本市では、令和2年度に「富山市エネルギービジョン」を策定し、公共施設を活用した市域全体での自立分散型エネルギーシステムの形成・展開を施策の一つに位置付け、指定避難所である婦中体育館で平時における温室効果ガス排出量の削減と災害時における防災機能の強化を図るため、太陽光発電設備や蓄電池、エネルギーマネジメントシステムを導入した。この取り組みの成果としては、令和3年度から3年間に渡る効果検証において、



太陽光発電の自家消費により、購入電力量やCO2排出量が約4割削減されると共に、災害に備えて蓄電池内の蓄電量を一定程度維持できるなどの効果を確認できた。本取り組みを他の公共施設にも展開できないか検討する。

2. 富山市の農業について

Q：米の概算金が上がっても十分とは言えないと思うが、このような状況をどのように捉えているのか、当局の見解を問う

A：北陸農政局の調査によると、令和4年産富山県の個人経営での米の生産費は、60kgあたり16,298円となっている。昨今の肥料や農業用資材の価格の高止まりや労働費の上昇などから、令和5年産、6年産の生産費は上昇していると推察している。一方、全農富山県本部が通知した令和6年産こしひかり1等60kgの概算金は、16,000円で、未だ生産費が上回っている状況であることから、現在も厳しい経営環境が続いていると捉えており、生産者の皆さんが意欲をもって営農を継続できる価格となることが望ましいと考えている。本市としては、県から提示される令和7年産米の生産目標に従い、需要に応じた米生産を推進し、米価の安定を図っていくと共に、農地の集積・集約化、スマート農業機械の導入、高温に強い品種への切替などを推進し、効率化や高品質化を図っていくことが重要と考えている。

Q：本市の令和6年産コシヒカリの1等米比率について問う

A：本市の令和6年産コシヒカリの1等米比率については、県農林振興センターによると、11月13日検査分までで、86.5%であり、猛暑の影響を受けた昨年の25.7%と比較して大幅な増となった。

大沢野総合運動公園 遊具の更新について

大沢野総合運動公園の遊具が老朽化したため、今年度、遊具の更新を行うこととなりました。

これまでの遊具は、障がいのある子どもには不向きな遊具でしたが、今回更新される遊具は、障がいのある子どもも遊ぶことのできる遊具（インクルーシブ遊具）となります。

富山市でインクルーシブ遊具を整備するのは、城川原公園に次いで2箇所目となります。

3月には完成し、4月ころから使用できる予定です。



是非ご覧ください!!

<おのうえ一彦公式ホームページ>

<おのうえ一彦公式ブログ>

<http://www.onouekazuhiko.com>

<http://www.onouekazuhiko.com/blog/>



⇐ 公式HPのQRコード
※携帯電話からのアクセスにご利用下さい。

聞かせてください、あなたのご意見
あなたの声を
まちづくりに
生かします

おのうえ一彦へのご意見、メッセージなどお待ちしております。



～地域の皆さまからの多くの声をお聞かせください！～